

**KITOKU  
SHINRYO**

**第53期事業報告書**

平成12年10月1日～平成13年9月30日

**木徳神糧株式会社**

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>

# 品質No.1宣言

## 私たちがめざす企業像

### 【企業価値】

木徳神糧は、お客さまのニーズに応えるとともに、「環境」とのかかわりを重視することに価値を置きます。「環境」重視とは、私たちを取り巻くすべての関係を大切にすることであり、社会と共生し、ともに成長し続けることです。

### 【経営理念】

1. 経営のあらゆる面で品質No.1をめざし、すべてのお客さまに対して誠意と感謝の気持ちを持って接します。
  2. 環境の変化に積極的に対応し、独創的で革新的なリーディング・カンパニーの役割を果たします。
  3. 人を生かし、活力とチャレンジ精神に満ちた、パワフルな企業であり続けます。
- 私たちはこうした理念のもと「コメをコアとした食と暮らしの提案」を積極的に行い、自らの力で市場を切り開いていきます。

## マークにこめられた木徳神糧のスピリット

人が生きていくエネルギー源となる「米」。その「米」が人と人、人と社会を結び、ネットワークを形成していく...。このマークには、コメの供給を社会的使命とする木徳神糧が、消費者、取引先、株主、従業員など、あらゆるステークホルダーと良好な関係を築き上げ、限りない発展を遂げていくという、強い決意がこめられています。



株主の皆さまへ

皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

当社第53期事業報告書をお届けするにあたりまして、日頃のご支援に対して心よりお礼申し上げます。

当期における我が国経済は、長引く消費低迷のなか、企業間競争が一層厳しさを増しました。当社の主力商品である米穀におきましても、低迷する景気を反映した低価格志向がマーケットを直撃するという厳しい年になりました。このような環境のなかで当社は、「コメをコアとした食と暮らしの提案」をテーマに、生活者ニーズを起点としたマーケティング戦略を実践し、高品質なお米や食品などの提供を積極的に行ってまいりました。また、平成13年7月18日には、ジャスダック市場に株式の上場を果たすことができ、業界再編が進むなか基盤の拡大を図ることができました。

米穀流通業界は非常に厳しい情勢のなか、無洗米による精米事業の好調や合併による効果もあり、連結では売上高103,075百万円、経常利益590百万円、当期純利益は267百万円、単独では売上高84,088百万円、経常利益300百万円、当期純利益は219百万円の結果となりました。

今後の見通しにつきましては、平成13年産米の作況の見込が「やや良」に加え、景気の回復が遅れることが予想されるため、引き続き価格競争が激化するものと想定しています。こうした環境のなか、当社は「伝統的な米穀卸から精米メーカーへの転換」をビジョンとして掲げ、安定収益構造への体質転換を目指してまいります。具体的には、主力である米穀事業におきましては継続してシェア拡大を推進、食品事業では「健康」を切り口にした新商品の開発体制を強化し新しい加工分野への進出を図ります。これらの戦略を実現するとともに、経営の合理化、効率化を推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

木村良

# 私たちが、お米を中心とした食と暮らしの提案をしています。

国内最大級の米穀事業をはじめ、鶏卵、食品、飼料園芸の事業を通じて健康で豊かな食と暮らしを創造しています。

木徳神糧のビジネスフィールドは、お米を中心とした食と暮らしの提案。米穀事業をはじめ、鶏卵事業、食品事業、飼料園芸事業の領域で持てる資源を結集し、総合力で品質No.1をめざしています。その原点は食の「安心」と「安全」をお客さまへしっかりお届けすること。食に関する長年の研究ノウハウや経験を基に、生活者ニーズを起点としたマーケティング戦略を実践し、高品質なお米や食品などをご提供しています。



## 【 米穀事業 】

### 100年を超える実績と全国規模のスケールメリットを活かした、積極的な事業を展開。

1994年に桶川精米工場を完成させるなど、精米技術と品質管理で先鞭をつけ、着実な全国展開を図ってきた木徳神糧の米穀事業。均一で高品質の精米を日本全国にお届けいたしております。関東や東北、北海道の生産者団体と3～5年の複数年契約を締結し、大手量販店や外食産業への安定供給体制を確立いたしました。また、とがずに炊ける無洗米「楽しきわが家」、産地・銘柄・年産を特定した「純づくり」、自然志向の「減農薬米」など、市場ニーズに対応し3シリーズの自社ブランド米を生産しています。さらに第54期に発売する「低タンパク米」は腎臓病や米タンパクアレルギーの方々のためのお米として注目が集まっています。



これからのおコメ  
とがずに炊ける  
無洗米シリーズ

産地・銘柄・年産を特定した  
純づくり  
シリーズ

自然志向の  
減農薬栽培米  
シリーズ



自動入出庫装置 ( TSS )



桶川工場内観



品質管理室



〔鶏卵事業〕

産卵後24時間以内に食卓へ。  
鮮度抜群の卵をお届けしています。

鶏卵事業では、卵に栄養素を付加した特殊卵を「カロチンE卵」及び「食べる健康卵」というブランドで販売。また産卵後24時間以内に店頭にお届けするなど、健康と先進の鮮度管理システムを確立しております。



〔食品事業〕

和惣菜の製造・販売を強化。  
健康食ブームに対応した食のこだわりを提案。

これからの少子高齢化にともない需要の拡大が大きく見込まれることから、木徳神糧では食品事業を第2の柱へ育てるべく取組んでおります。グループ会社「株式会社クックマン」は和惣菜を中心に製造、「株式会社あじとき」では、お弁当と惣菜の直営店並びに首都圏でのFC展開を行っています。また「内外食品」は完全無投薬で飼育したオーガニックチキンを「つくば茜鶏（あかねどり）」のブランドで、デパートや量販店、外食産業にお届けしています。



〔飼料園芸事業〕

米副産物の米糠で安全な飼料を提供。  
また肥料や種子、園芸用資材も取揃えています。

飼料部門では、畜産業の基盤づくりに欠かせない飼料原料を取扱い、これらに関する商社機能を発揮。自社精米工場が発生する良質の米糠を油脂メーカーに搾油原料として供給し、脱脂された米糠を仕入れ、飼料原料として飼料メーカーに納入いたしております。また園芸部門では、種や球根、観葉植物のほか、肥料などの園芸資材を幅広く取揃えてお届けしています。



木徳神糧の旬な話題のココが知りたい!?

Q&A

Q 今後の経営方針は、  
どのように考えていますか？

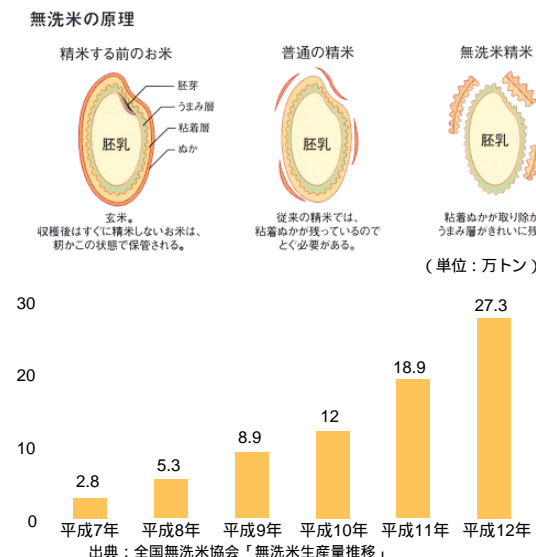
A 品質NO.1の企業を目指すこと、米をコア（核）とした食品メーカーになることが基本的な姿勢です。米や食品など取扱い商品の品質はもちろんのこと、経営の質を高め収益性の向上に努めます。また、米を基盤として食品事業を拡大し、食品

メーカーとしての地位を築いてまいります。食生活に健康と楽しさをお届けするために、徹底した品質管理体制を整え、食の「安心」と「安全」を追求し、商品開発を行います。

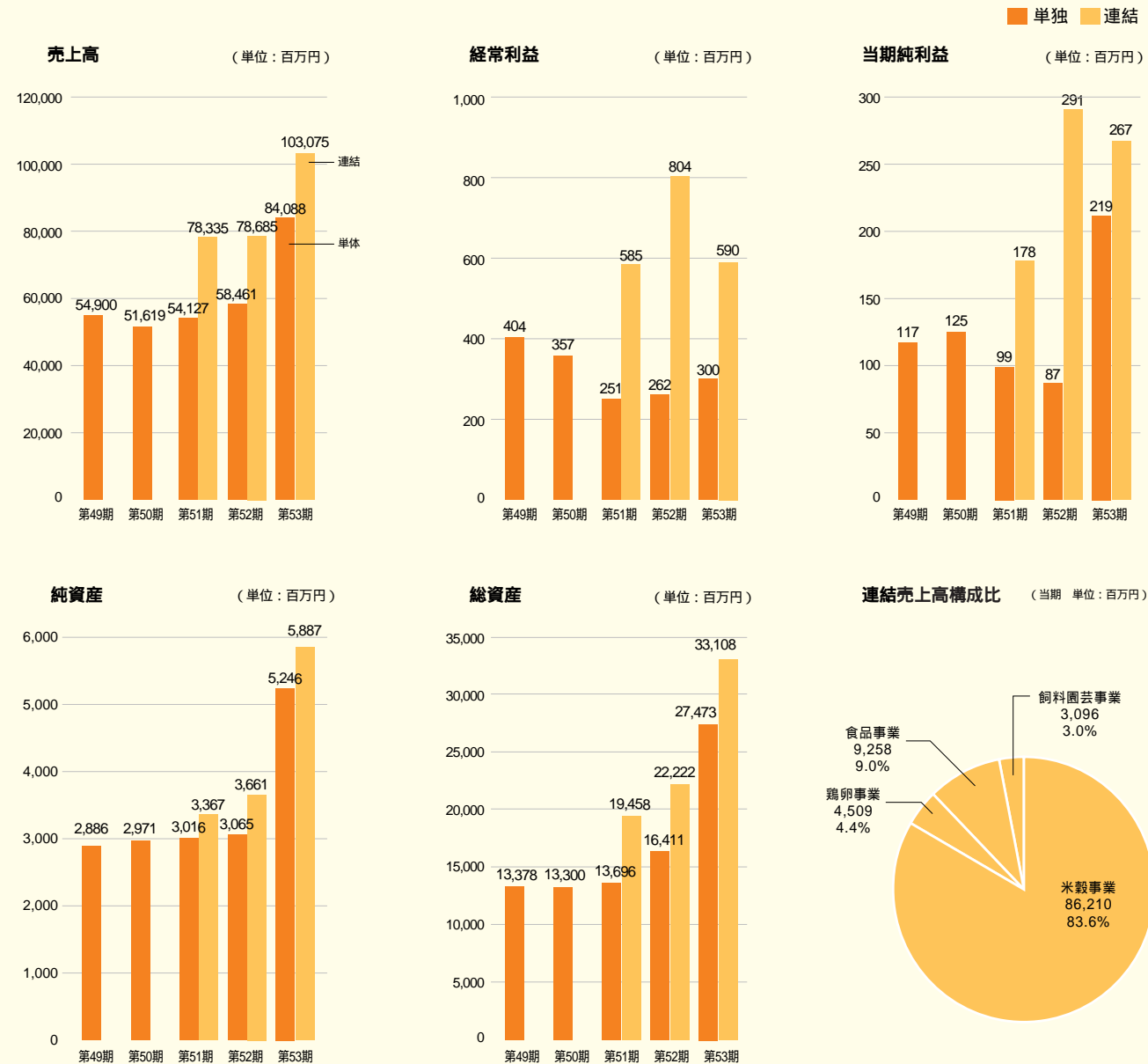


Q 無洗米は精米市場で  
どのくらい伸びますか？

A 無洗米は次世代のお米として高く評価されています。その生産量の伸びは、平成7年に2.8万トンだったのに対して平成12年には27.3万トンと10倍程度に増大しています。また当社では、桶川精米工場などに無洗米ラインをいち早く整備。生産規模で国内トップクラスを誇っています。とがずに炊ける利便性のほか、うまみ層を残した画期的な精米であることから、「おいしい」というのがもはや常識。木徳神糧では家庭用・業務用を問わず、これからの主力商品と位置づけており、拡販に全力を傾けていきます。



## 財務ハイライト



平成12年10月1日(第53期期首)に、木徳株式会社、神糧物産株式会社と合併し、木徳神糧株式会社となりました。

## 事業の概況

### ① 米穀事業部門

「平成12年緊急総合米対策」と精米表示に対するJAS法適用の結果、平成13年4月以降の入札価格が加重平均で6.3%上昇し、銘柄別では最高15.5%高を記録いたしました。しかし、消費者の低価格志向は強く、販売段階では入札による価格上昇分を販売価格に反映させることが直ちにできず、極めて厳しい状況に直面いたしました。当期は原料高の製品安に不良債権の発生が重なるという環境下ではありましたが、精米販売量では137,612トン、玄米販売量106,644トン合計244,256トン、売上高73,258百万円の結果をあげることができました。無洗米の販売数量は29,397トン(精米販売に占める比率は21.3%)と急増いたしております。米穀関係会社グループ全体での取扱数量は合計281,730トンとなりました。

今後米穀事業部門といたしましては、合併の効果をさらに発揮させることに注力するとともに、年来の品質重視の経営を基本とし、関係会社との連携を強めグループとしての経営基盤の強化に取り組んでまいります。

### ② 海外事業部門

当期における外国産米の取扱は、MA(ミニマム・アクセス：最小限輸入量)で29,094トン、SBS(売買同時契約方式)によるもので9,579トン、三国間貿易ならびに加工貿易で3,901トンの合計42,574トンの取扱となり食品等の取扱と合わせ売上高は1,876百万円となりました。

### ③ 食品事業部門

当期においては鶏卵の相場が低迷いたしました。しかし、「食べる健康卵」など特殊卵の取扱増加により販売数量では17,289トン、売上高は4,544百万円の結果をあげることができました。しかし、加工食品の業務用食用油、うずら卵の減少により事業部門全体では5,856百万円となりました。食品事業部門は関係会社の株式会社あじとき、株式会社クックマンとの連携を強化し、総合力の発揮を目指した運営をはかってまいります。

### ④ 飼料園芸事業部門

合併により新たに加わった部門であります。飼料部門では合併による米糠取扱量の増加と関連して脱脂糠も取扱量が増加いたしました。園芸部門につきましては、これまで順調に伸びてきておりました園芸市場の消費動向が、不況の影響で平成12年度にはじめて前年比91.8%(総務省統計)と減少しました。この結果部門売上高は3,096百万円となりました。

連結貸借対照表

科 目	(単位：千円)	
	当 期	(平成13年9月30日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	21,396,599	
現金及び預金.....	4,604,310	
受取手形及び売掛金.....	9,898,516	
有価証券.....	5,990	
たな卸資産.....	4,457,448	
繰延税金資産.....	84,184	
未収入金.....	2,158,249	
その他.....	275,762	
貸倒引当金.....	87,862	
<b>固定資産</b>	11,711,655	
<b>(有形固定資産)</b>	(8,464,896)	
建物及び構築物.....	2,974,821	
機械装置及び運搬具.....	1,993,114	
土地.....	3,219,000	
建設仮勘定.....	166,616	
その他.....	111,343	
<b>(無形固定資産)</b>	(195,855)	
ソフトウェア.....	131,189	
その他.....	64,665	
<b>(投資その他の資産)</b>	(3,050,903)	
投資有価証券.....	1,562,470	
長期貸付金.....	116,868	
長期前払費用.....	62,581	
繰延税金資産.....	26,192	
その他.....	1,458,716	
貸倒引当金.....	175,924	
<b>資産合計</b>	<b>33,108,255</b>	

科 目	(単位：千円)	
	当 期	(平成13年9月30日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	18,109,111	
支払手形及び買掛金.....	3,847,798	
短期借入金.....	11,237,959	
一年内返済予定長期借入金.....	1,418,153	
未払法人税等.....	187,276	
賞与引当金.....	240,341	
その他.....	1,177,583	
<b>固定負債</b>	8,746,000	
社債.....	500,000	
長期借入金.....	7,149,933	
繰延税金負債.....	340,059	
退職給付引当金.....	431,300	
役員退職給与引当金.....	194,595	
連結調整勘定.....	8,424	
その他.....	121,689	
<b>負債合計</b>	<b>26,855,112</b>	
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分.....	366,057	
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	529,500	
<b>資本準備金</b>	331,500	
<b>連結剰余金</b>	4,664,601	
<b>その他有価証券評価差額金</b>	379,333	
為替換算調整勘定.....	14,513	
自己株式.....	3,335	
<b>資本合計</b>	<b>5,887,085</b>	
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>33,108,255</b>	

(注) 合併により、大幅に数値が変わっているため、前期との比較は行っておりません。

連結損益計算書

科 目	(単位：千円)	
	当 期	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
<b>売上高</b>	103,075,304	
売上原価.....	94,598,320	
売上総利益.....	8,476,984	
販売費及び一般管理費.....	7,693,304	
<b>営業利益</b>	<b>783,679</b>	
<b>営業外収益</b>	251,959	
受取利息.....	15,302	
受取配当金.....	14,036	
不動産賃貸収入.....	117,810	
その他.....	104,810	
<b>営業外費用</b>	445,613	
支払利息.....	317,688	
持分法による投資損失.....	293	
不動産賃貸費用.....	74,906	
新株発行費.....	12,136	
その他.....	40,589	
<b>経常利益</b>	<b>590,024</b>	
<b>特別利益</b>	947,256	
固定資産売却益.....	900,528	
投資有価証券売却益.....	8,885	
関係会社株式売却益.....	11,539	
貸倒引当金戻入益.....	22,819	
その他.....	3,484	
<b>特別損失</b>	832,675	
役員退職慰労金.....	123,570	
固定資産売却損.....	34,473	
固定資産除却損.....	38,241	
投資有価証券売却損.....	17,704	
投資有価証券評価損.....	12,804	
ゴルフ会員権等評価損.....	67,850	
貸倒引当金繰入額.....	176,090	
退職給付会計基準変更時差異処理額.....	243,514	
その他.....	118,425	
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>704,605</b>	
法人税、住民税及び事業税.....	323,669	
法人税等調整額.....	114,849	
少数株主損失.....	1,405	
<b>当期純利益</b>	<b>267,492</b>	

## 連結剰余金計算書

(単位：千円)

科 目	当 期
	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
連結剰余金期首残高	3,241,702
連結剰余金増加高	1,226,200
合併に伴う剰余金増加高	1,226,200
連結剰余金減少高	70,793
配当金	39,600
役員賞与	31,193
(うち監査役賞与)	(1,000)
当期純利益	267,492
連結剰余金期末残高	4,664,601

## 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の持株比率	主 要 な 事 業 内 容
内外食品株式会社	160,000千円	72%	畜産物加工販売業
株式会社クックマン	75,000千円	100%	食品製造販売業
株式会社ライスピア	50,000千円	100%	原材料用米搗精販売業および穀粉製造販売業
株式会社あじとき	70,000千円	100%	惣菜店のFC本部
キトク・アメリカ社	200,000US\$	100%	米穀輸出版売業
アンジメックス・キトク社	716,000US\$	67%	米穀搗精販売業
木徳東海株式会社	180,000千円	100%	米穀搗精業
木徳九州株式会社	100,000千円	100%	米穀搗精販売業
木徳滋賀株式会社	95,000千円	100%	米穀搗精販売業
株式会社木徳備前岡山ライスセンター	50,000千円	50%	米穀搗精業
長野県米穀卸株式会社	28,000千円	81%	米穀搗精販売業

(注) 当期より重要な子会社に長野県米穀卸株式会社を加えております。

なお、株式会社木徳備前岡山ライスセンターは、実質的に支配しているので重要な子会社に含めております。

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

キャッシュフロー	当 期
	(自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,634,152
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,897,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,285
現金及び現金同等物の減少額	744,923
現金及び現金同等物の期首残高	3,969,841
合併による現金及び現金同等物の増加額	1,311,785
現金及び現金同等物の期末残高	4,536,703

## 単独財務諸表

### 貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別
	第 53 期 (平成13年9月30日現在)
流動資産	16,851,711
固定資産	10,621,351
(有形固定資産)	(6,684,341)
(無形固定資産)	(141,762)
(投資等)	(3,795,247)
資産合計	27,473,062
流動負債	14,606,489
固定負債	7,620,160
負債合計	22,226,649
資本金	529,500
法定準備金	437,125
剰余金	3,901,952
(内当期利益)	(219,186)
その他有価証券評価差額金	377,835
資本合計	5,246,412
負債及び資本合計	27,473,062

## 利益処分

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	338,244,734
別 途 積 立 金 取 崩 額	200,000,000
固 定 資 産 圧 縮 積 立 金 取 崩 額	13,788,754
計	552,033,488
これを次のとおり処分します	
利 益 準 備 金	8,521,400
利 益 配 当 金	85,213,900
(1株につき普通配当7円50銭 記念配当2円50銭)	
圧 縮 特 別 勘 定 積 立 金	388,821,239
次 期 繰 越 利 益	69,476,949

(注) 固定資産圧縮積立金の取崩額及び圧縮特別勘定積立金の繰入額は、租税特別措置法に基づくものであります。

### 損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	期 別
	第 53 期 (自 平成12年10月1日 至 平成13年9月30日)
経常損益の部	
営業損益の部	
営業収益	84,088,643
営業費用	83,653,638
営業利益	435,004
営業外損益の部	
営業外収益	324,631
営業外費用	459,558
経常利益	300,077
特別損益の部	
特別利益	867,147
特別損失	740,406
税引前当期利益	426,818
法人税、住民税及び事業税	109,347
法人税等調整額	98,284
当期利益	219,186
前期繰越利益	63,112
合併引継未処分利益	55,945
当期末処分利益	338,244

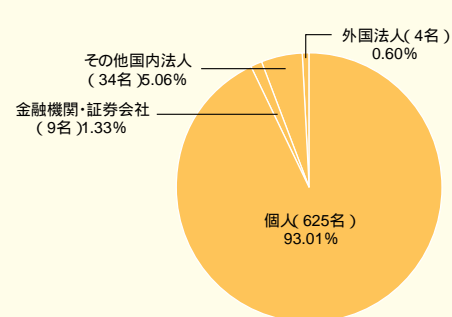
## 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 30,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 8,530,000株  
 (注) 1. 平成12年10月1日神糧物産株式会社との合併により新株式2,250,000株を発行いたしました。  
 2. 平成13年7月18日ジャスダック市場上場の際し、公募増資により新株式1,000,000株を発行いたしました。  
 (3) 株主数 672名  
 (4) 大株主

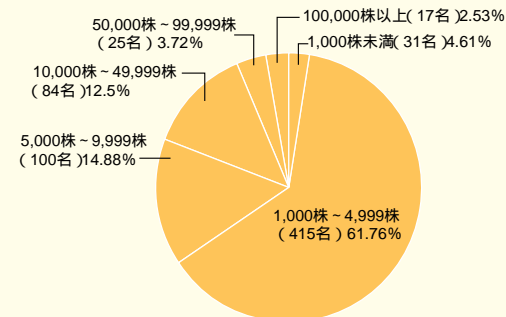
株主名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
木村謙三	405千株	4.7%	-千株	-%
木徳神糧従業員持株会	354	4.1	-	-
木村初子	351	4.1	-	-
木村良	294	3.4	-	-
木村不動産株式会社	270	3.1	-	-
株式会社東京三菱銀行	240	2.8	-	-
稲垣辰彌	225	2.6	-	-
濱田精麥株式会社	218	2.5	-	-
木村徳兵衛	212	2.4	-	-

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 持株比率は、小数点第2位を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況

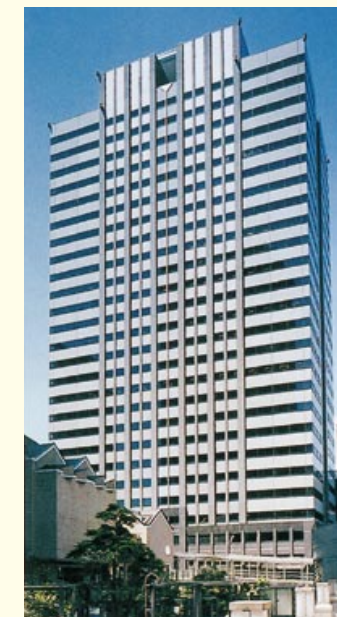


株式の所有数別分布状況



## 会社概要 (平成13年9月30日現在)

商号 木徳神糧株式会社  
 事業内容 米穀事業、海外事業、食品事業、飼料園芸事業  
 本社所在地 〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー 14階  
 TEL 03-5479-7111(代表) FAX 03-5479-6999  
 資本金 5億2,950万円  
 従業員数 194名(男性152名、女性42名)



## 役員 (平成13年12月25日現在)

代表取締役会長	稲垣辰彌
代表取締役社長	木村良
専務取締役	釜谷弘
常務取締役	足立英夫
常務取締役	木村友二郎
常務取締役	水野正夫
取締役	志村安彦
取締役	山本幸雄
取締役	海老塚明誠
取締役	天川吉
取締役	松山正
取締役	平山惇
常勤監査役	土田秀三
監査役	大川孝之
監査役	中島淳

## 事業所一覧 (平成13年9月30日現在)

本店	東京都中央区銀座
本社	東京都品川区東品川
首都圏営業部	横浜市西区浅間町
桶川精米工場	埼玉県桶川市
本牧精米工場	横浜市中区かもめ町
鶏卵部	茨城県猿島郡猿島町

- (注) 平成12年10月1日神糧物産株式会社との合併により首都圏営業部と本牧精米工場が加わりました。



## 株 主 メ モ

**決 算 期** 毎年9月30日  
**定 時 株 主 総 会** 毎年12月に開催いたします。  
**基 準 日** 定時株主総会については9月30日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日  
**配当金受領株主確定日** 9月30日および中間配当金の支払いを行うときは3月31日  
**名 義 書 換 代 理 人** 東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
三菱信託銀行株式会社  
**同 事 務 取 扱 場 所** 東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
**同 事 務 連 絡 先** 〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
**( 郵 便 物 送 付 先 )** 三菱信託銀行株式会社 証券代行部  
**( お 問 い 合 せ 先 )** TEL ( 03 ) 5391-7680 ( 代表 )  
**同 取 次 所** 三菱信託銀行株式会社 全国各支店  
**公 告 掲 載 新 聞** 日本経済新聞

( 届出諸事項についてのお知らせ )

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。